

はじめに

はじめましての方もそうでない方もこんにちは！

留学へ来てから5ヶ月が経ち、ゴールドコーストでの景色、生活が日常となりました。日本は、肌寒くなっている頃かと思いますが、こちらは夏に向かっています。ハロウィンが過ぎ、街がクリスマスモードになりました。オーストラリアで迎える初めてのクリスマスがとても楽しみです！



クリスマスがやってくる！

11月3日、日曜日の朝。リビングへ向かうと、ホストファミリーがクリスマスツリーの飾り付けをしていました。ツリーだけでなく、キャンドルや大きな靴下、雑貨と、リビング全体がクリスマス仕様になりました。夜になると、クリスマスツリーがライトアップします。1ヶ月以上にわたり、クリスマスを楽しむ文化。クリスマス当日をこんなにも早くから待ち望んだのはいつぶりでしょう。

Elf on the shelf.

「エルフ」を知っていますか？クリスマスの飾り付け最中、ブラザーがシスターに「触っちゃダメ!」と言っている人形がありました。それが、サンタさんのお手伝いをする妖精、エルフです。もし触れてしまったら、クリスマスの魔法がとけるとされています。エルフは、ダークエルフ(悪)とエルフ(善)の2体います。毎朝、エルフが前日の場所から動いており、末っ子のブラザーが楽しそうに探しています。私も毎朝エルフを探すのを楽しみにしています。

クリスマスプレゼント

ある朝、ツリーの下にプレゼントが置いてありました。クリスマスプレゼントがこんなにも早く届くとは、驚きです。どうやらプレゼントは、サンタさんからではないようです。綺麗にラッピングされており中身は見えませんが、ペンで「To姉」「From弟」と書いてあります。兄弟弟同士でプレゼントを贈り合うようです。ブラザーに確認したところ、プレゼントを開けるのはクリスマスイブ。当日まで、プレゼントが増えていくそうです。なんて夢のようなお話でしょう。これは、オーストラリアの文化かと思いましたが、家庭にもよるそうです。嬉しいことに、「To Haruna」と書いてあるプレゼントも見えました！正しくは、末っ子のブラザーが嬉しそうに「見て見て！はるなのがあるよ!」と報告してくれました。私のために末っ子ブラザーがプレゼントを選んでくれたことはもちろん、私もファミリーの一員になれたような気がして、嬉しいです。

クリスマスパーティ

11月の中旬に、動物園ボランティアのクリスマスパーティが開かれました。これまた気持ちが早いように感じましたが、クリスマスは、オーストラリア人にとって「家族と過ごす大切な日」です。当日は、家族で過ごせるよう、日程調整しているのだと思いました。ボランティア仲間のおばあちゃんからは、「はるなは家族と過ごさないの?」「日本に帰らないの?」と聞かれるほどでした。帰らない旨を伝えると、「それは寂しいね」「家族も寂しがってるだろうね」と言われました。私からすると、クリスマスに家族と会えないことは悲しくはありません。しかし、お正月に家族に会えないことを想像したら少し心寂しく感じたため、オーストラリア人にとってのクリスマスは、私にとってのお正月なのだと思います。



授業とゼミと

私は現在3年生であるため、ゼミに所属しています。留学中のゼミ活動について気になっている方のために、ゼミについて触れたいと思います。私は、武田淳先生のゼミに所属しています。教授によりますが、留学中でも履修可能なゼミがあります。私の場合、オンラインで週に1度または3週に1度など、ゼミや留学先の授業の課題に合った、ペースで進めています。個別で見てもらえるため、とてもやりやすく、帰国してからの不安や焦りがないです。ゼミ選考時に提出した卒業論文のテーマとは程遠いテーマで進めていますが、オーストラリアに来たからこそ出会えたテーマであり、武田ゼミは、どのようなテーマでも卒業論文にできる環境が整っているように思います。武田先生から、違う国に留学しているゼミ生のお話を聞くのも楽しみで、刺激的です。

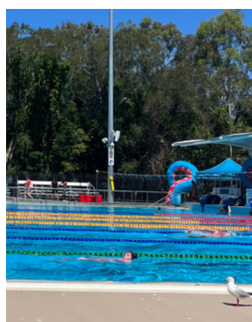
最近の出来事



インフルエンサーと



大学にヘビが来た



50mプールへ

WICKED鑑賞

初めて海外でミュージカルを鑑賞しました。俳優さんの歌声に感動しました。分からないジョークが少しありましたが、母語でなくても楽しめるのがミュージカルの良さだと思います。授業で出てきた「Bogan」という単語がミュージカルでも登場し、一生忘れないと思いました。

レジュメを渡してみた

実際に1度お店にレジュメを渡す経験をしました。その後連絡が来ていないため、雇われてはいません。レジュメを渡すだけでも、とても緊張し、良い経験になりました。私は、家族から学業や生活に専念するよう応援してもらっています。バイト以外の面で身になることを継続していきたいと思います。

初めての手錠

走ってたどり着いた場所で、男の人が2人の警察官に捕らえられているところを見かけました。すると、男の人は手錠をはめられ、パトカーに乗せられていきました。日本のニュースでも手錠はいつもタオルなどによって隠されているため、初めて手錠を見ました。日本でも滅多に出くわさない場面に出くわしました。

Snapchatデビュー

末っ子のブラザーが私の唯一のSnapchat友達です。Snapchatは、顔写真を送り合うアプリで、私のトークにはブラザーの愛おしい写真が増えています。

自転車屋さんへ

パンクした自転車の修理に、自転車屋さんまで自転車を押して行きました。まさかオーストラリアでも自転車を押すことになるとは、驚きました。

50kmウルトラマラソン完走！

11月24日、ついに50kmウルトラマラソンの日を迎えました。止まることなく走り続け、6時間47分31秒で完走しました！自分でも驚くほどに、最初から最後まで楽しかったです。ゴールで2人の友だちが待っていてくれました。自分の喜びをいっしょに共有してくれる人がオーストラリアにもいることがとても幸せです。日本からも家族や友だちからメッセージをもらい、沿道の声援やハイタッチを力にかえ、走り切ることができました。

家に戻ると、豪華なディナーを作って、ホストファミリーが待っていました。みんなで食卓を囲んで食べたディナーは、最高に美味しかったです。また、マザーがバスタブにお湯を張ってくれました。久しぶりの湯船、50km走った後のお湯は格別でした。マラソン当日の朝、乗ろうとしていたバスが来なかったため、おおよそ泣きながら自転車に向かおうとしていたところ、乗せてくれたご近所さんには、感謝してもしきれないです。

人生で一番、たくさんの人から「I'm proud of you.」と言ってもらい、たくさんの方の優しさに触れた1日でした。自分が好きなことをしていると、周りの人が笑顔で応援してくれること。そして、自分がさらに笑顔になれること。とても重要なことに改めて気がつけた、人生初めてのウルトラマラソンでした！

